

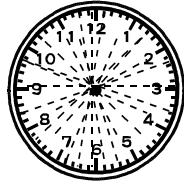

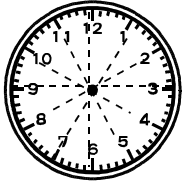

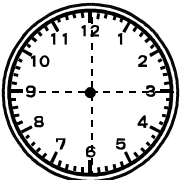







課題	45分は何時間ですか。	 時間を分数で表してみましょう。
----	-------------	---

既習事項の想起	① 1時間は60分だから、45分は60等分したうちの45個分と考えることができるかな。	② 時計の文字盤は、1から12まで書いてあるので、45分は、12(0)から9まで針が動いたときかな。	③ ピザを4等分したときと同じような割合と考えれば、分けたピザの3つ分と同じかな。
---------	---	--	---

自力解決	○ペアやグループ活動を行い、各自の考えを発表する。	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="text-align: center;">  <p>① 1時間を60等分した45こ分だから</p> <math display="block">\frac{45}{60} \text{ 時間}</math>  </div> <div style="text-align: center;">  <p>② 1時間を12等分した9こ分だから</p> <math display="block">\frac{9}{12}</math>  </div> </div> <div style="text-align: center; margin-top: 20px;">  <p>③ 1時間を4等分した3こ分だから</p> <math display="block">\frac{3}{4} \text{ 時間}</math>  </div>	<b>指導上の留意点</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>● 時計の文字盤の図を準備しておき、時間を図形でイメージできるようにする。</li> <li>● 約分することに気付かない児童もいるが、自力解決の場面ではあえて触れない。</li> <li>● 児童の考えを生かすが、出なかった場合は、考え方として例示する。</li> </ul>
------	---------------------------	---	---

集団思考	<b>1 自分の考えを発表する。</b> <div style="display: flex; justify-content: space-between; margin-top: 10px;"> <div style="width: 45%;">  <p>① 1時間が60分であり、45分は1時間の <math>\frac{45}{60}</math> です。</p> </div> <div style="width: 45%;">  <p>② 45分は針が9に行ったときなので、<math>\frac{9}{12}</math> です。</p> </div> </div> <div style="margin-top: 10px;">  <p>③ 時計を4等分したうちの3つ分だから、<math>\frac{3}{4}</math> 時間です。</p> </div>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 児童の発想を認め自分の言葉でしっかりと説明させたい。</li> </ul>
	<b>2 三つの考え方が同じになること確認する方法を話し合う。</b> ≪児童の予想される反応≫ ・通分する。	
	○ $\frac{45}{60}$ $\frac{9}{12}$ $\frac{3}{4}$ を通分してみよう。 <b>【3つの数の通分, 最小公倍数】</b> $60 \rightarrow 60 \times 1, 60 \times 2 \dots$ $12 \rightarrow 12 \times 1 \dots 12 \times 5$ $4 \rightarrow 4 \times 1, 4 \times 2, 4 \times 3 \dots 4 \times 15$ $\frac{45}{60} = \frac{9 \times 5}{60} = \frac{45}{60} \quad \frac{3}{4} = \frac{3 \times 15}{4 \times 15} = \frac{45}{60}$	
	①～③の分数は等しいことになる。	
	1時間が60分であることを利用して、時間を分数で表せます。	

ま  
と  
め

○ まとめ

1時間 = 60分だから、60等分した何こ分と考えて分を時間になおすことができます。



習熟をしっ  
かり図りた  
いところだ  
な！

(例) 1分は  $\frac{1}{60}$  時間であり、45分は  $\frac{1}{60}$  時間が  $\frac{45}{60}$

45こ分と考えられるので、 $\frac{45}{60}$  時間となる。

分数は可能な限り約分して表すのが約束であるから、

45の約数・・・1, 3, 5, 9, 15, 45

60の約数・・・1, 2, 3, 4, 5, 6, 10,

12, 15, 20, 30, 60

最大公約数が15であることに着目して、

$$\frac{45 \div 15}{60 \div 15} = \frac{3}{4} \text{ (時間)}$$

$$\frac{45 \div 15}{60 \div 15} = \frac{3}{4}$$

○ 適用問題に取り組む。(教科書や単元問題ライブラリー)

(例) ① 15分は何時間ですか。② 40分は何時間ですか。【約分】  
③ 48秒は何分ですか。④ 90分は何時間ですか。

$$\left[ 1 \text{ 秒} = \frac{1}{60} \text{ 分} \right]$$

● 分数の形で表すことができることを確認する。約分して、できるだけ簡単に表すことを強調する。

● 十分に定着が図れるよう、補充問題を準備しておく。